

別表2

(2023-3回)

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">1</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>かわはながれる かわははこぶ：川のはなし (新装版かこさとの地球のかがくえほん)</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作・絵 かこさとし</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>農山漁村文化協会</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年9月</td> </tr> </table>	1		書名	かわはながれる かわははこぶ：川のはなし (新装版かこさとの地球のかがくえほん)	著者等	作・絵 かこさとし	出版社	農山漁村文化協会	定価	2,500	対象	小学校低学年	発行	2023年9月	<p>このシリーズは、「かこさとの自然のしくみ地球のちから えほん 全10巻」(2005年発行)を、子どもたちが手に取りやすく、より読みやすくなるように判型や文字組みを変更して、内容案内を付けるなどをした新装版となっている。川は、「ちきゅうのうえのみずがながれるみち」という説明でこの本が始まる。川の始まりはどこか?川はどうして曲がっているのか?川の水は何を運んでいるのか?など、川についてのことが詳しく書いてある。見返しには、世界の大きな川や日本の大きな川の長さも紹介されている。私たちの身近にあるけれど、詳しくは知られていない川について、知識をわかりやすく楽しみながら学ぶことができる科学絵本。</p>
1																
書名	かわはながれる かわははこぶ：川のはなし (新装版かこさとの地球のかがくえほん)															
著者等	作・絵 かこさとし															
出版社	農山漁村文化協会															
定価	2,500															
対象	小学校低学年															
発行	2023年9月															
(分類番号 452)																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">2</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>いつかきっと</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>文 アマンダ・ゴーマン 訳 さくまゆみこ 絵 クリスチャン・ロビンソン</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>あすなる書房</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年10月</td> </tr> </table>	2		書名	いつかきっと	著者等	文 アマンダ・ゴーマン 訳 さくまゆみこ 絵 クリスチャン・ロビンソン	出版社	あすなる書房	定価	1,500	対象	小学校低学年	発行	2023年10月	<p>ごみ箱からあふれているごみを見た一人の男の子。「どうってことないから、気にしないで」と、みんなは言う。男の子は、なんだかへんだ、と思い、行動を起こす。「やってもむだだね」とみんなは言う。だけど、ごみを片付けたら小さな花が一つ咲いた。そして、手伝ってくれる友だちが現れた。一人の男の子の勇気ある行動が、まわりの人の生活を変えていく。アメリカのバイデン大統領の就任式で自作の詩「わたしたちの登る丘」を朗読した詩人、アマンダ・ゴーマンと、最も優れたアメリカの子ども向け絵本の賞であるコルデコット賞を受賞したイラストレーターのクリスチャン・ロビンソンが作った、時代を超えた希望のメッセージが込められている絵本。</p>
2																
書名	いつかきっと															
著者等	文 アマンダ・ゴーマン 訳 さくまゆみこ 絵 クリスチャン・ロビンソン															
出版社	あすなる書房															
定価	1,500															
対象	小学校低学年															
発行	2023年10月															
(分類番号 933)																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">3</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>やさいのはな なんのはな?</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>構成・文 宮崎祥子 写真 網野文絵</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>岩崎書店</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年5月</td> </tr> </table>	3		書名	やさいのはな なんのはな?	著者等	構成・文 宮崎祥子 写真 網野文絵	出版社	岩崎書店	定価	1,400	対象	小学校低学年	発行	2023年5月	<p>野菜の花を見たことがある人は、少ないだろう。この絵本を見ると、野菜の花のことを楽しく学ぶことができる。まず、見開きの2ページで野菜の花の写真があり、「やさいのはなだよ、なんのはな?」と問いかけている。ページをめくると、何の野菜なのかわかるクイズ形式になっている。ラップみたいなお星様みたいな花、小鳥が枝に止まってチピチピおしゃべりしているみたいな花など、つい「くすっ」と笑ってしまいそうな花ばかりが紹介されている。しかも、その野菜は、「実を食べる」のか、「根を食べる」のか、「茎を食べる」のか、「葉を食べる」のかについても教えてくれている。身の回りの様々な現象について知る楽しさに出会えるクイズ形式科学絵本。</p>
3																
書名	やさいのはな なんのはな?															
著者等	構成・文 宮崎祥子 写真 網野文絵															
出版社	岩崎書店															
定価	1,400															
対象	小学校低学年															
発行	2023年5月															
(分類番号 471)																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">4</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>心をひらいて、音をかんじて：耳のきこえない打楽器奏者 エヴェリン・グレニー</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>文 シヤノン・ストックカー 訳 中野怜奈 絵 デヴォン・ホルズワース</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>光村教育図書</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年7月</td> </tr> </table>	4		書名	心をひらいて、音をかんじて：耳のきこえない打楽器奏者 エヴェリン・グレニー	著者等	文 シヤノン・ストックカー 訳 中野怜奈 絵 デヴォン・ホルズワース	出版社	光村教育図書	定価	1,600	対象	小学校低学年	発行	2023年7月	<p>スコットランドの農場で育ったエヴェリンは、音楽が大好きな女の子。聞いた曲をピアノで弾いたり、クラリネットを上手に吹いたりすることができた。しかし、しだいに耳に痛みを感じるようになってきた。お医者さんは音楽を続けるのは無理だと言ったが、エヴェリンはあきらめなかった。そして、ついに世界的な打楽器奏者となり、エリザベス女王から勲章を授かるまでになった。エヴェリンは、いったいどうやって夢をかなえたのだろう。「自分の心の声を聞き、想像をめぐらせて自分を信じることの大切さ」を教えてくれる真実の物語絵本。</p>
4																
書名	心をひらいて、音をかんじて：耳のきこえない打楽器奏者 エヴェリン・グレニー															
著者等	文 シヤノン・ストックカー 訳 中野怜奈 絵 デヴォン・ホルズワース															
出版社	光村教育図書															
定価	1,600															
対象	小学校低学年															
発行	2023年7月															
(分類番号 289)																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">5</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>あてっこ どうぶつずかん だれ</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作・絵 あべ弘士</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>KADOKAWA</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年7月</td> </tr> </table>	5		書名	あてっこ どうぶつずかん だれ	著者等	作・絵 あべ弘士	出版社	KADOKAWA	定価	1,300	対象	小学校低学年～	発行	2023年7月	<p>著者は、元旭山動物園飼育係であり、動物絵本も多く出版している。はじめのページに、これから登場する動物たち18匹が紹介されている。そして、次のページから「おおきいほうはだれ?」や「どんぐりをほっぺにいれているのはだれ?」などの問題があり、次のページをめくると答えが分かる。知っているようで知らないことを楽しく知ることができる。巻末には、登場する動物たちを実際に飼育している動物園と動画を見ることができるURLも記載され、長野市茶臼山動物園、須崎市動物園も紹介されている。動物のことについて親子で楽しく学ぶことができるあてっこあそび絵本。</p>
5																
書名	あてっこ どうぶつずかん だれ															
著者等	作・絵 あべ弘士															
出版社	KADOKAWA															
定価	1,300															
対象	小学校低学年～															
発行	2023年7月															
(分類番号 726)																

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>あたしデイズ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 itoumiku</td></tr> <tr><td></td><td>絵 平澤朋子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>新日本出版社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年12月</td></tr> </table>	6		書名	あたしデイズ	著者等	作 itoumiku		絵 平澤朋子	出版社	新日本出版社	定価	1,400	対象	小学校中学年～	発行	2023年12月	<p>小学4年生の睦月は3年生の頃から仲良しのクラスメイト、ガッコとコマリと同じ班になって移動教室に行くのを楽しみにしていた。けれど、班決め当日、二人は他の子と班を組んでしまい、睦月はまだ班が決まっていなかった子と嫌々班を組むことに。睦月は二人との間にいつもとは違う空気が流れていることに気がつく。どうして、こうなったの？ わけがわからないまま状況はどんどん悪くなり、その上、お母さんとの関係もうまくいかなくなって、ついに睦月は体調を崩してしまう。苦しい気持ちに寄り添いながら背中を押してくれる物語。</p>
6																		
書名	あたしデイズ																	
著者等	作 itoumiku																	
	絵 平澤朋子																	
出版社	新日本出版社																	
定価	1,400																	
対象	小学校中学年～																	
発行	2023年12月																	
(分類番号 913)																		
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>1話ごとに近づく恐怖 百物語 4不吉の恐怖</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>編 日本児童文学者協会</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>文溪堂</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年7月</td></tr> </table>	7		書名	1話ごとに近づく恐怖 百物語 4不吉の恐怖	著者等	編 日本児童文学者協会	出版社	文溪堂	定価	1,400	対象	小学校中学年～	発行	2023年7月	<p>ホラー短編とショートショートが集められた本で、作者の違う20話の怖い話が載っている。読書の時間に1話ずつ読み進めるにはちょうどぴったりだが、ぞくぞくとする怖い物語についつい夢中になって読んでしまいそう。この巻のテーマは「不吉」。「なんだか嫌な感じがする」「あれ？何かへんだぞ」そんな誰もが感じたことがある「不吉」な予感が思いもよらないことへつながっていく物語。</p>		
7																		
書名	1話ごとに近づく恐怖 百物語 4不吉の恐怖																	
著者等	編 日本児童文学者協会																	
出版社	文溪堂																	
定価	1,400																	
対象	小学校中学年～																	
発行	2023年7月																	
(分類番号 913)																		
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>シーリと氷の海の世界 海賊たち</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 フリーダ・ニルソン 訳 よこのなな 絵 アレクサンデル・ヤンソン</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>岩波書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>2,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中・高学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年11月</td></tr> </table>	8		書名	シーリと氷の海の世界 海賊たち	著者等	作 フリーダ・ニルソン 訳 よこのなな 絵 アレクサンデル・ヤンソン	出版社	岩波書店	定価	2,300	対象	小学校中・高学年～	発行	2023年11月	<p>シーリは氷海の人々から恐れられている海賊船ユキガラス号に妹のミーキをさらわれてしまい、年老いた父親を島に残してたった一人で救出の旅に出る。ユキガラス号の船長シロガシラは大人たちからも恐れられ、シーリに手を差し伸べてくれる人たちはほとんどいなかった。それでも、シーリは氷と雪、そして海という厳しい自然の中を進んでいく。弱い者から奪う人々、動物にひどいことをする人々、もっともっとと欲しがると人々…。いろいろな出会いを経て、それでもなお前へ進む少女の冒険ファンタジー。</p>		
8																		
書名	シーリと氷の海の世界 海賊たち																	
著者等	作 フリーダ・ニルソン 訳 よこのなな 絵 アレクサンデル・ヤンソン																	
出版社	岩波書店																	
定価	2,300																	
対象	小学校中・高学年～																	
発行	2023年11月																	
(分類番号 949)																		
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>しごとへの道2：獣医師 オーケストラ団員 地域 おこし協力隊</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 鈴木のりたけ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>ブロンズ新社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年9月</td></tr> </table>	9		書名	しごとへの道2：獣医師 オーケストラ団員 地域 おこし協力隊	著者等	作 鈴木のりたけ	出版社	ブロンズ新社	定価	1,300	対象	小学校高学年～	発行	2023年9月	<p>獣医師、オーケストラ団員、地域おこし協力隊として働く三人の人たちが、その仕事を見つけるまでどんな人生を送ってきたかを漫画で紹介している。子どもの頃からその仕事を目指していた人もいれば、そうではない人もいる。学校を卒業してすぐその仕事についた人もいれば、いろいろな仕事を経験してたどり着いた人もいる。シリーズですが、巻ごとに照会されている職業が異なり、2巻は、見たことあるけど会ったことはないかもしれない職業が取り上げられている。ドキュメンタリー番組のようなリアルヒストリー。</p>		
9																		
書名	しごとへの道2：獣医師 オーケストラ団員 地域 おこし協力隊																	
著者等	作 鈴木のりたけ																	
出版社	ブロンズ新社																	
定価	1,300																	
対象	小学校高学年～																	
発行	2023年9月																	
(分類番号 366)																		
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>アオナギの巣立つ森では</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 にしがきようこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>小峰書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年、中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年10月</td></tr> </table>	10		書名	アオナギの巣立つ森では	著者等	作 にしがきようこ	出版社	小峰書店	定価	1,600	対象	小学校高学年、中学生～	発行	2023年10月	<p>小学6年生の遠山あおばは、祖父といっしょに度々森へバードウォッチングに行く。そこで偶然クラスメイトの成沢椰（なぎ）と出会う。椰が家業の刀鍛冶に憧れ、女性刀匠になる夢を持っていることを知ったあおばは刀匠の仕事に興味をもつようになる。ある日、親しくなった二人は森の中で、絶滅が心配されるオオタカの巣と小さなヒナを発見する。二人はヒナの成長を見守ることにするが、オオタカを狙う怪しい大人たちに気がつく。自然の中で好きなことや夢を追う少年少女の成長の物語。</p>		
10																		
書名	アオナギの巣立つ森では																	
著者等	作 にしがきようこ																	
出版社	小峰書店																	
定価	1,600																	
対象	小学校高学年、中学生～																	
発行	2023年10月																	
(分類番号 913)																		

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">11</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>コンプレックスをひっくり返す：見た目のなやみが軽くなる「ボディ・ポジティブ」な生き方</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 吉野なお</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>旬報社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年7月</td> </tr> </table>	11		書名	コンプレックスをひっくり返す：見た目のなやみが軽くなる「ボディ・ポジティブ」な生き方	著者等	著 吉野なお	出版社	旬報社	定価	1,600	対象	中学生～	発行	2023年7月	<p>平均より身長や体重が大きいモデルのことをプラスサイズモデルという。雑誌やファッションショーで活動し、エッセイストとしても活躍している著者が、自身の経験をもとに書いた本である。10代のころから自分の見た目にコンプレックスを感じ、極端なダイエットをしたためにつらい摂食障害を経験した著者が、苦しみの中で出会った「ボディ・ポジティブ」の考え方を紹介する。また人間関係、情報、広告などでコンプレックスを生み出す社会のしくみを理解することも大切だといひ、作られた価値観をひっくり返してみることで自分も他人も尊重して肯定できる方法を教えてくれる。切ない思いに、そっと寄り添ってくれる一冊。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 159)</p>
11																
書名	コンプレックスをひっくり返す：見た目のなやみが軽くなる「ボディ・ポジティブ」な生き方															
著者等	著 吉野なお															
出版社	旬報社															
定価	1,600															
対象	中学生～															
発行	2023年7月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">12</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>アナタノキモチ</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 安田夏菜</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>文研出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年10月</td> </tr> </table>	12		書名	アナタノキモチ	著者等	著 安田夏菜	出版社	文研出版	定価	1,600	対象	小学校高学年～	発行	2023年10月	<p>二世帯住宅で祖父母と両親、弟と暮らしているひより。5歳のある日、母親に置き去りにされた同じ年のいとこハル君がひよりたちの家で一緒に暮らすことになる。発達障害があるハル君は人の気持ちが理解できず、自分の感情を表すことも難しい。おばあちゃんはそんなハル君に愛情深く寄り添い根気よく育てていくが、典型的ながんこおやじのおじいちゃんは家族への愛情をうまく示すことができず、その無神経さな発言から次第に家族との間に溝が生まれていく。けれども、目には見えない人の気持ちがわからないのはハル君だけなのか？友人関係の失敗、新しい友との出会いを経て成長していくひよりと、不器用なおじいちゃんの視点で紡がれる家族の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
12																
書名	アナタノキモチ															
著者等	著 安田夏菜															
出版社	文研出版															
定価	1,600															
対象	小学校高学年～															
発行	2023年10月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">13</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>私たちの世代は</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 瀬尾まいこ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>文藝春秋</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年7月</td> </tr> </table>	13		書名	私たちの世代は	著者等	著 瀬尾まいこ	出版社	文藝春秋	定価	1,700	対象	中学生～	発行	2023年7月	<p>主人公は小学校から中学校にかかる時間をパンデミックのなかで過ごした冴（さえ）と心晴（こはる）。早くに父を亡くした冴は、明るく愛情深い母に育てられ、まっすぐな性格だ。中学、高校ではつらいできごとを経験するが、友人や周囲の大人たちに支えられて何とか前へと進む。小学校4年生から不登校になった心晴は、家庭教師の助言から通信制の高校、大学を卒業する。そんな2人が就活で出会い、やがて大切な友人となっていく。コロナ禍の中で失われた日常や先の見えない不安人の中で失ったものは大きい。だが、そんな中でもつながった友人、手をさしのべてくれた大人たち、あの日々の中で受け取ったものも確かにあったのだ。人の温もりと信頼の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
13																
書名	私たちの世代は															
著者等	著 瀬尾まいこ															
出版社	文藝春秋															
定価	1,700															
対象	中学生～															
発行	2023年7月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">14</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>リックとあいまいな境界線</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 アレックス・ジーノ 訳 島村浩子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>偕成社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年11月</td> </tr> </table>	14		書名	リックとあいまいな境界線	著者等	作 アレックス・ジーノ 訳 島村浩子	出版社	偕成社	定価	1,700	対象	中学生～	発行	2023年11月	<p>主人公は中学校に入学したばかりのリック・ラムジー。思春期の息子に対して当然のようにパパが投げかけてくる女の子の話にうまく乗れないし、クラスの女子を話題にする親友ジェフとの会話もしっくりこない。恋愛に対して興味がわからない自分に気づき、不安を感じたリックは性の多様性や権利について話し合う放課クラブ「レインボーズ」に参加、自分が何者なのかを模索し、自分を見つめなおしていく。また、おじいちゃんが存在が頼もしくリックとの会話は心に響く。自分と違う性のあり方に対し、差別意識をもって馬鹿にする親友ジェフと決別したリックは、新しい仲間の中へと入っていく。巻末には性自認やLGBTQ+の解説、相談窓口等が掲載されている。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
14																
書名	リックとあいまいな境界線															
著者等	作 アレックス・ジーノ 訳 島村浩子															
出版社	偕成社															
定価	1,700															
対象	中学生～															
発行	2023年11月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">15</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ホワイトバード</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>原作 R・J・パラシオ ノベライズ エリカ・S・パウル 訳 中井はるの</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ほるぷ出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年11月</td> </tr> </table>	15		書名	ホワイトバード	著者等	原作 R・J・パラシオ ノベライズ エリカ・S・パウル 訳 中井はるの	出版社	ほるぷ出版	定価	1,600	対象	中学生～	発行	2023年11月	<p>著者の代表作「ワンダー」ではいじめっ子だったジュリアンが、パリに住むサラおばあちゃんから聞く、ナチスによるユダヤ人迫害の体験談。絵を描くことが大好きな13歳のサラは、フランスのある村で裕福なユダヤ人の両親のもと何不自由なく暮らしていたが、フランスがドイツ降伏すると村はナチスに支配され、学校にも魔の手が伸びる。同級生ジュリアンの機転によって逃げ延びたサラは、両親の安否もわからないままジュリアンとその両親の援助に支えられ、納屋での隠れ家生活を送ることになるが…。人間の愚かさや残忍さが満ちた極限状態でのつらく悲しい記憶の中で、おばあちゃんが決して忘れない究極の親切、愛情の気高さを教えてくれる物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
15																
書名	ホワイトバード															
著者等	原作 R・J・パラシオ ノベライズ エリカ・S・パウル 訳 中井はるの															
出版社	ほるぷ出版															
定価	1,600															
対象	中学生～															
発行	2023年11月															

	16		<p>2023年は近代プラネタリウムがドイツで誕生して100周年。現在は世界に4000以上のプラネタリウムが存在するが、その歴史は古代メソポタミアで誕生し古代ギリシャで発展した天文学に遡る。定期的に運行する星座を描いた天球儀は丸いドームのルーツ、複雑に運行する太陽や惑星を再現した天体運行儀は星の動きを再現する装置のルーツである。その二つが合流し、光学と電気の技術が加わることでプラネタリウムが生まれ、世界へと広がっていき、日本にも輸入され、やがて国産プラネタリウムが誕生し発展していき、現在は約300館が稼働している。プラネタリウムの機械そのものに焦点を当て、プラネタリウムの歴史をたどる。著者は国内現役最古のプラネタリウムがある明石市立天文科学館の館長。</p>
	書名	星空をつくる機械 プラネタリウム100年史	
	著者等	著 井上毅	
	出版社	KADOKAWA	
	定価	2,400	
	対象	高校生～	
	発行	2023年10月	
			(分類番号 440)
	17		<p>平人生は奏杜高校の校務員。飄々とした背の高いイケメンで、生徒たちは親しみを込めて人生先生と呼んでいる。生徒たちは人生先生にいろいろな相談をする。恋と愛の違いが分からないという藤崎葵、すべては運でゲームのガチャと同じという坂東昌平、幸せになりたい来栖梨花、生きる意味がわからない水野陽菜。抱えきれなくなった問いに、人生先生はそれぞれの悩みにあったマンガや映画・小説などの名言を紹介しながら、自分で考えて自分自身で答えを出すよう導く。そして、自らがはじめたビオトープづくりへと生徒たちを誘い、自分の居場所を作ること、大切なだけかとの関係を築くことの大切さをそっと学ばせてくれる。高校生の日常の悩みに気づきを与える青春小説。</p>
	書名	17歳のビオトープ	
	著者等	著 清水晴木	
	出版社	幻冬舎	
	定価	1,500	
	対象	高校生	
	発行	2023年11月	
			(分類番号 913)
	18		<p>山の奥の森の中にある町田診療所は、町田モネが営む「くすりを一緒に作るキッチン」。そこには、問題を抱えた人々が引き寄せられるようにやってくる。人生の迷子になってしまった大学院生の北原巧己、家事と仕事と子育てに追われ好きなものを忘れてしまった母親の板東真琴、キャリアを積み重ねるも周りとの生き方のギャップに悩む医師の島田ましろ。自分を見失い、追い詰められた人たちに、モネはその人のための料理を提案する。それぞれが自分が納得するものを納得するまで作って、食べて、自分の心に耳を傾けて、そして自分を取り戻していく。モネの双子の姉エミと元同僚の栗生李青の話を経て、モネが診療所を開いた理由、料理だからできる繋がりが見えてくる。食べることは生きることであると実感する再生の物語。</p>
	書名	キッチン・セラピー	
	著者等	著 宇野碧	
	出版社	講談社	
	定価	1,700	
	対象	高校生	
	発行	2023年7月	
			(分類番号 913)
	19		<p>新宿にある都立の定時制高校にはさまざまな事情を抱えた生徒たちが通っている。負のスパイラルから抜け出せないディスレクシアの岳人、学校に通えなかった日比ハーフのアンジェラ、起立性調節障害で不登校になった佳純、中卒で集団就職した長嶺。そんな生徒たち一癖ある理科教師の藤竹が声をかけ、科学部を結成する。それぞれが「知る」ことの喜びを感じ、宇宙科学への興味が深まるとともに実験と検証に夢中になっていく。そして、火星のクレーターを作る実験で学会に発表するという目標を持ち、実現していく。日本地球惑星科学連合大会の「高校生によるポスター発表」で、大阪の定時制高校が優秀賞を獲得した実話をモデルにした青春物語。</p>
	書名	宙わたる教室	
	著者等	著 伊与原新	
	出版社	文藝春秋	
	定価	1,600	
	対象	高校生	
	発行	2023年10月	
			(分類番号 953)
	20		<p>アルフレッド・ナカッシュは、アウシュヴィッツ強制収容所を生き抜いたアルジェリア出身のユダヤ系フランス人水泳選手。1936年ベルリンオリンピックに出場し、トップアスリートとして素晴らしい成績を残したが、反ユダヤ政策によりフランス選手権大会の不参加を余儀なくされる。そして強制連行され、ついにはアウシュヴィッツ強制収容所へと送られる。過酷な状況に加え、有名人だから味わわれる屈辱の中、監視の目をくぐって貯水池で泳ぐことで心を保つ。死の行進から生還したあとは、戦後初の夏季オリンピックロンドン大会への出場を果たした。事実をもとに描かれた、知られざる偉人の伝記物語。</p>
	書名	アウシュヴィッツを泳いだ男	
	著者等	著 ルノー・ルブロン 訳 吉野さやか	
	出版社	アストラハウス	
	定価	2,000	
	対象	高校生	
	発行	2023年10月	
			(分類番号 953)